

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 恒徳会

令和6年度を振り返って

海老原 隆行

環境変化が激しく、新しい価値観が生まれるこの時代だが、介護業界は成長産業と言えることは間違いない。法人として、経営組織のガバナンス強化と事業運営の透明性向上は言うまでもないが、生き残りをかけて全力で地域ニーズに向きあえたかどうか疑問が残る一年であった。障がい者支援施設と特別養護老人ホームの現事業に集中しながら、入所・通所・訪問・相談など、複数のサービス機能や役割を持った、多機能化をより充実させることに意義がある。地域に必要とされる社会福祉法人であり続けたい。ありたい姿の法人をめざすには、物価高による財務データの管理と分析は、コスト対策による利益増と財務状態の好転につながり、一翼を担う手段になる。積極的に黒字化の法人運営を学び、問題解決のため、弁護士・社労士・公認会

計士・コンサルタントによる支援は、即効性と抜群の効果があつたと評価できる。現状の経営を刷新できる助言は、自発的に受けたいと熱望している。

人材不足の中、個人の介護問題による離職の発生を意識して「相談窓口」を設置し、介護と仕事の両立が可能となる支援制度の早急な整備は、法人の責務と考えている。

知らなかったでは済まされない、あらゆるハラスメント等のワンランク上の研修会を行い、正しい認識と知識の共有も役目であり、至上命題は、経営陣と職員が一丸となり、困難を乗り越え、成功体験を積み上げていくことだ。

運営上の要点として、

- ① 経営課題の早期発見と経営状況の把握と善後策
- ② 柔軟な雇用体制と労働環境の確保
- ③ 職員目線からモチベーションにつながる人事評価制度
- ④ 職員育成と定着を促す人事評価制度の進め方
- ⑤ B C Pに基づく着実な研修と地道な訓練
- ⑥ 身体拘束の廃止と虐待防止の浸透
- ⑦ シニア世代の人材運用を見据えた給与体系の再検討
- ⑧ ムリ・ムダ・ムラを排除し、業務全体の流れの再確認とテクノロジーの使用
- ⑨ A I ・ロボット技術導入し、人材不足への再吟味
- ⑩ イベントやホームページ・S N Sを活用して、やりがいや魅力発信
- ⑪ 求人媒体・説明会・インターンシップ等効果的な採用手法
- ⑫ 定期的面談による、職員のメンタルヘルスケア予防
- ⑬ リーダーシップ・マネジメントスキル・コミュニケーションスキル等の幹部養成
- ⑭ 災害対策拠点としての地域貢献活動の安定性

以上、列挙したこれらの浮き上がってきた項目を、打開できたかできなかったではなく、意欲的に取り組めなかったことを猛省している。

〔総務部会〕

鈴木 克也

令和6年度になり、世間一般では新型コロナウイルス感染症の影響が大分落ち着きを見せてきましたが、福祉・医療の現場では依然として脅威が続いており、一旦感染者が出ると職員の負担増大や管理体制に大きく影響してきますので、まだまだこれから先も注視していかなければなりません。そんな中で法人部会としての課題としては、コロナ禍にあった昨年までの法人全体の資金運営をどう回復させるか、人材不足にどう対処するか、人件費を含めた物価高騰にどう対応するかなど、今後の課題が山積みとなっていることが見えてきた一年でした。稼働を上げたくても職員が不足している、逆に職員が充足できても利用を希望する対象者が見つからないといったことがあり、なかなかハグルマが噛み合わない場面が増えている現状で法人収支に影響が出ております。総務部会ではまずは、各拠点の収支の状況を照らし合わせながら、職員求人状況及び相談員部会と連携しての利用者の利用希望状況を確認しながら最終的に法人収支をプラスに出来るようにしたいと思います。物価上昇については、修繕事業や大型の物品購入時には以前よりだいぶ値段が上がったことを痛感しており、中長期的にどのような資金運営をしていけば効率的なのかを検討し、今後の状況を把握して行きたいと思います。

令和6年度から義務化された「業務継続計画」の本格的な運用が開始されましたが、災害対策面ではなかなか訓練実施までとは行かず、各拠点で防災訓練に組み込んで、職員への周知、防災委員会での今後の運用方法の検討までとなっていました。また感染症対策については、想定が難しく防護具の装脱着練習程度の訓練しか出来ませんでした。今後各拠点での周知及び徐々に実地訓練がある程度出来てきた時点で法人本部を立ち上げての全体練習を考えて行きたいと思います。

また、労務面では新しく制度化された「特定正社員」は、9名の職員が特定正社員として従事しており一定の効果が見られたと思います。今後も生産労働人口が減る中で、時代に沿った働き方の提案が出せるよう話し合いをしていきたいと思っています。

会計月次検討会・経営勉強会

- ☆ 公認会計士事務所による会計監査は、適切な会計処理が実施出来たこととともに資金の流用などのアドバイスを受けながら、今後の資金計画を考えることが出来た。
- ☆ 経営コンサルティング会社による生産性向上の研修が開催され、今後の福祉業界の動向について勉強出来た。

介護・福祉施策の動向

- ☆ 茨城県に処遇改善加算の申請をし、複数に分かれていた加算が一本化された。
- ☆ 退職金制度の電子申請移行を行った。

新型コロナウイルス感染症対策

- ☆ クラスター感染が発生した拠点もあったが、今までの経験や知識で業務を停止することなく上手に対応出来たため、それによる大きな収入減がないよう対策を行った。

処遇改善加算の対応

- ☆ 処遇改善加算・特定処遇改善加算・ベースアップ等支援加算の清算をおこなった。
- ☆ 処遇改善加算の一本化により、職員への周知及び支給金額の設定や対象職員の提案を行った。

●第1回部会

日時 5月16日(木)

場所 恒幸園

内容 ① 令和6年度第1回理事会について
② 8月以降の処遇改善手当について
③ 定額減税について

●第2回部会

日時 1月14日(火)

場所 恒幸園

内容 ① (独)福祉医療機構退職金新システムについて
② 家族会寄附金・小栗判官祭出店売上金入金について

●第3回部会

日時 1月20日(月)

場所 恒幸園

内容 ① GビズIDの取得について
② (独)福祉医療機構退職金システムについて(経過報告)

●第1回 介護現場における生産性向上の基本理解研修（エイデル研究所）

日時 8月28日（水）PM

場所 恒幸園

内容 福祉分野における生産性向上とは？
現場で考えられる「サービスの質の向上」の考え方
生産性向上のねらい：2つの方向性
福祉業界の課題

●第2回 介護現場における生産性向上の基本理解研修（エイデル研究所）

日時 1月22日（水）PM

場所 恒幸園

内容 福祉分野における生産性向上とは？
現場で考えられる「サービスの質の向上」の考え方
生産性向上のねらい：2つの方向性
福祉業界の課題

〔支援・相談員部会〕

酒井 浩樹

With コロナ生活を送るうえで、施設生活の活気を取り戻すため、各施設が一丸となり、危機管理、リスク管理を意識しながら、各施設の状況報告をしながらご利用者の生活に生かしていけることを模索してきた。ご利用者が安心して生活することが出来るよう、情報収集・交換及び発信をし、各部署との共通した理解・理念の上で協力しながら日々のサービス提供をしていくことを考えてきた。

介護保険施策及び障害者施策の見直し、報酬改定もあり、抜けのない変更の遂行を心掛け、各施設間でご利用者一人一人の立場に立ったサービスの提供が出来るよう心掛けてきた。

法人部会として、「地域社会への貢献」についての取り組みを目標に掲げていたが、特別支援学校のボランティア等への参加は出来ずに終わってしまった。

法人PR活動の一環としての地域開催行事への参加に関しては、「小栗判官祭り」に模擬店を出店し、多くの地域住民の方々に足を運んで頂き、各施設早々に完売することが出来た。今後も継続的に出店参加し、地域に根差した法人へとしていければと考える。

- | | | | |
|---|------|-----------|----------|
| 1 | 部会開催 | 5月23日(木) | 9月25日(水) |
| | | 11月21日(木) | 2月13日(木) |
-
- | | | |
|---|------|---|
| 2 | 取り組み | ① 障害者施策・介護保険に関する情報収集及び意見交換
令和6年度介護報酬の改定について |
| | | ② With コロナ生活を送る上で施設生活の活気を取り戻す
生活相談員、サービス管理責任者が中心となり情報収集、
意見交換を行いご利用者の生活に役立てていく。 |
| | | ③ マイナンバーカードの申請、取り扱いについて |
| | | ④ 法人PR活動
小栗判官まつりへの出店参加 |

〔介護士部会〕

塚田 和人

新型コロナウイルスが5類移行後、各施設での対応も緩和されつつありますが、障害者支援施設、高齢者福祉施設共にクラスター感染の発生もあり、まだまだ油断はできず利用者への生活援助においても慎重にならざるを得ない状況である。

今年度の活動目標として掲げた各施設での「感染症予防対策の継続」に関して感染症発生時の対応及び職員への指導においては、蔓延防止に努めた対応が出来ていた。「介護職としての質の向上」「職員が定着する職場作り」に関して介護技術の向上、福祉の知識、職員へのメンタルヘルスケア、業務改善取り組み等、具体的に取り組めていなかった事は反省しなければならない。

介護人材の確保が今後も課題となる中で、生産性向上に繋がる業務改善や職員一人ひとりに寄り添える指導を行い、各施設間での情報交換を基に職員が定着する魅力ある職場作りに尽力し、利用される方々の利益となるよう法人職員全体の底上げを図りたい。

◎ 第1回部会

開催日 令和6年6月12日（水）10:00～11:00

場 所 桃香園

内 容 ①本年度の部会目標確認
②各施設の感染症予防対策の報告
③その他情報交換

◎ 第2回部会

開催日 令和6年12月12日（水）10:00～11:00

場 所 桃香園

内 容 ①各施設の感染予防と現状報告
②職員への感染対策指導状況
③その他情報交換

◎ 第3回部会

開催日 令和7年2月12日（水）10:00～11:00

場 所 桃香園

内 容 ①各施設の感染症予防と現状報告
②本年度の反省・次年度目標及び取り組み内容
③その他情報交換

〔看護師部会〕

谷島 朋子

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、流行時期になると感染率も高まり、予防対策をしていても安心しきれない状況下には置かれていると感じます。

また、世間一般との意識にも違いを感じています。

1人の感染が施設全体の感染に拡大しないよう、流行時期に関わらず基本的な感染予防対策の継続など、常日頃から意識した行動を心掛けてきました。

部会内でも感染状況の報告等を通じて、各々の反省点や改善点などが明らかになってきます。今後の実践に繋がられるよう知識の向上を図り、来年度も看護業務に生かせるよう努めていきたいと思います。

- 第1回 令和6年5月15日（水） 10:00～11:00
① 食事・水分摂取の在り方について（現状報告・対応等）
② 新型コロナウイルス感染症経過報告（桃香園・堇授園）
- 第2回 令和6年10月9日（金） 10:00～11:00
① ご家族に連絡する際の手順について（現状報告・対応等）
② 新型コロナウイルス感染症経過報告（桃香園・恒幸園）
③ 看取り支援の事例報告（桃香園）
- 第3回 令和7年2月12日（水） 10:00～11:00
① 感染症発生時の対応経過報告
・メンタルヘルスケアとして支援した内容（事例報告）
・スキンケアとして支援した内容（事例報告）
② 令和6年度反省
③ 次年度の目標・担当施設・開催日調整

〔栄養士部会〕

大森 直美

今年度も部会実施時に各施設の抱えている疑問や問題を話し合い、解決に導くことができました。また、今年度は久しぶりに取引業者の開催する食品展示会に参加することができました。様々な食材や商品を実際に見る事や、活用方法、献立への取り入れ方等を学ぶことができ、展示会で得た情報や知識を、日々の献立作成や調理業務に活かすことができました。

次年度は非常食に関する勉強会や食品展示会への参加を予定しています。会議や研修の機会を生かし、栄養士部会の活動を充実させるとともに、法人栄養士間の連携をさらに深め、法人全体の食事サービス向上に繋げていきたいと思ひます。

●第1回部会

- 日時 令和6年7月1日(月) 13:30～14:30
場所 すみれ園 相談室
内容 ① 各施設の給食業務日誌の内容について
② 各施設のイベント食について
③ 食品展示会の参加について
④ 行事の際のガスボンベの使用について
⑤ ウルノ商事ミニ提案会について
⑥ 献立表交換(6月・7月)
⑦ その他、情報交換

●第2回部会

- 日時 令和6年11月11日(月) 13:30～14:30
場所 恒幸園 会議室
内容 ① 各施設の厨房における異物混入等について
② 食材の納品・使用・提供について
③ 冷凍魚の解凍方法について
④ 衛生管理について
⑤ 市場調査について
⑥ 各施設イベント食について
⑦ ㈱三和 食品展示会について
⑧ 献立表交換(10月・11月)
⑨ その他、情報交換

●第3回部会

日時 令和7年2月5日(水) 9:00～13:00

場所 ホテルグランド東雲

内容 ① (株)三和「SANWA フードフェア 2025」展示会参加

② 令和6年度事業報告

③ 令和7年度事業計画

〔調理員部会〕

鈴木 和之

令和6年度調理員部会は、タイミングが合わず展示会への参加が出来ませんでしたが、食材の高騰による献立の変更など、定例会議を通して情報交換をしたことで参考にすることができました。今後も各施設と情報を共有し、ご利用者へ安心して安全な食事、喜んで頂ける食事の提供に努めていきたいと思いをします。

● 第1回部会

- 期日 令和6年6月4日（火）
- 場所 すみれ園 会議室
- 内容
 - ・ 定例会議
 - ・ 厨房内各種感染症対策について
 - ・ その他情報交換

● 第2回部会

- 期日 令和6年10月1日（火）
- 場所 董授園 相談室
- 内容
 - ・ 定例会議
 - ・ 各施設の献立等について
 - ・ その他の情報交換

● 第3回部会

- 期日 令和7年2月10日（月）
- 場所 桃香園 相談室
- 内容
 - ・ 定例会議
 - ・ 令和6年度事業報告と反省
 - ・ 令和7年度事業計画案について
 - ・ その他情報交換

令和6年度社会福祉法人「恒徳会」主な流れ

令和6年	4月 1日	開園記念日 辞令交付
	6月 5日	監事監査
	10日	令和6年度第1回恒徳会理事会 (恒幸園：会議室)
	24日	令和6年度第1回恒徳会定時評議員会 (桃香園：会議室)
	10月21日	令和6年度第2回恒徳会理事会 (恒幸園：会議室)
令和7年	12月 1日	小栗判官祭参加
	9日	令和6年度第3回恒徳会理事会 (恒幸園：会議室)
	3月24日	令和6年度第4回恒徳会理事会 (恒幸園：会議室)